

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京マルチ・AI専門学校
設置者名	学校法人 都築学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化教養専門課程	ゲームクリエイター科(2年制)	夜・通信	160時間	80×2=160時間	
商業実務専門課程	情報処理科(2年制)	夜・通信	160時間	80×2=160時間	
工業専門課程	モバイル・アプリケーション科(2年制)	夜・通信	160時間	80×2=160時間	
	Webエンジニア科(2年制)	夜・通信	160時間	80×2=160時間	
	研究科(1年制)	夜・通信	80時間	80×1=80時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

受付窓口を設置(閲覧申請者名簿に記入、閲覧)
------------------------

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京マルチ・AI専門学校
設置者名	学校法人 都築学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HP「情報公開」で公開している。 ( <a href="https://tmc.tsuzuki.ac.jp/disclosure/">https://tmc.tsuzuki.ac.jp/disclosure/</a> )
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社取締役	※	法人の運営体制の チェック機能
非常勤	名誉宮司	R5.4.1～ R7.3.31	法人の運営体制の チェック機能
(備考) ※ 評議員選出理事であり、理事としての任期はない。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京マルチ・AI専門学校
設置者名	学校法人 都築学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)                  (ゲームクリエイター科(2年制)、ビジュアルデザイン科(2年制)、AIシステム科(2年制)、情報処理科(2年制)、モバイル・アプリケーション科(2年制)、Webエンジニア科(2年制)、研究科(1年制))</p> <p>【作成について】                  各授業科目については、毎年度、各学科の校内会議(教育内容検討委員会)により、授業科目の設定・講義内容についての検討・検証に基づき、各授業を担当する講師により、作成を行っている。                  校内の教員用内規の中で、授業科目名、必要時間数、担当講師名、修得目標、教科書・参考書等、教授要領(各回の主要教授項目、内容、教授形式、教材・教具)は全科目共通で記載することが必須となっており、校内統一様式でシラバス作成を行っている。</p> <p>【時期について】                  翌年度の講義予定(授業計画)は12月～1月に担当講師が作成し、3月の校内会議の議案で翌年度の授業計画が承認されることで正式決定する。4月に当年度のシラバスを閲覧公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	受付窓口を設置(閲覧申請者名簿に記入、閲覧)
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則、学生便覧において、校内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各学科で定める授業科目の試験により成績評価を行っている。</p> <p>(参考：学生便覧抜粋)                  科目の履修に伴う単位の認定は、試験を実施し成績評価の上決定する。                  試験は、筆記試験・実習試験・レポート及び論文等とする。                  成績は100点満点とし、60点以上をもって合格とする。59点以下を不合格とし該当科目期末試験、平常試験の成績、受講態度及び出席状況を総合的に勘案して成績評価の上、単位が与えられる。                  試験の成績評価は、次のように表示する。                  優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)                  出席すべき時数の4分の3に満たない者は、期末試験及び追・再試験を受験できないことがある。又、成績評価で不可となることがある。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学生便覧において、GPA (Grade Point Average) を導入し、校内の成績評価として使用している。GPAは学生の履修した1授業科目あたりの平均成績を指す。当校では、特待生の選考や学業優秀者の表彰候補者選出などに活用している。</p> <p>学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって評価される。当校では各授業の評価を100点満点を基準として、60点以上を合格としている。合格者の中でも、評価点数により100～80を優、79～70を良、69～60を可として成績が通知される。各授業の成績評価を既定の数値に置き換え、1授業あたりの平均成績を算出する。各成績は優(3点)、良(2点)、可(1点)に換算する。GPAは(優の授業数×3+良の授業数×2+可の授業数×1)の合計を各学生が履修済みの総授業数で除した数として求めることによって算出する。</p> <p>成績評価方法については、学生全員に学生便覧を配布するほか、入学時オリエンテーションで入学学生に通知している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学生便覧(学業成績及び単位の取得)の配布、受付窓口を設置(閲覧者名簿に記入、閲覧)</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>東京マルチ・AI専門学校は、社会の要求に即応した人材の育成、特に映像、デザイン等の文化・教養分野、情報ビジネス等の商業実務分野及びコンピュータ技術等の工業分野で活躍する有為な人材を育成し、我が国の経済社会の発展に寄与することを目的としている。</p> <p>卒業要件については、各学科所定の全授業科目を所定の年次に全て合格することを定めている。詳細については、学生便覧に記載している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学生便覧(目的、試験及び卒業、進級及び卒業要件)の配布、受付窓口を設置(閲覧者名簿に記入、閲覧)</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京マルチ・A I 専門学校
設置者名	学校法人 都築学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://tmc.tsuzuki.ac.jp/disclosure/">https://tmc.tsuzuki.ac.jp/disclosure/</a>
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
文化・教養		文化・教養専門課程	ゲームクリエイター科	○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
	昼		講義	演習	実習	実験
2年		2,160 単位時間/単位	1,160 単位時間/単位	1,000 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
50人		17人	4人	4人	0人	4人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	2人 (25.0%)	0人 (0.0%)	6人 (75.0%)
(主な就職、業界等) ゲーム開発			
(就職指導内容) 校内外進路説明会 (合同企業説明会、会社説明会、面接会)、各種セミナー、ビジネスマナー及び就活リテラシー等の授業			

(主な学修成果(資格・検定等)) 日本情報処理検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25人	2人	8.0%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による就学継続困難、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。また、経済的困難学生を特待生として授業料を減免している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	情報処理科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,160 単位時間/単位	1,600 単位時間/単位	単位時間/単位	560 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		23人	6人	4人	0人	4人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等 (概要) 講義内容の修得状況セルフチェックのためのミニテストを各授業で行っている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	0人 (0.0%)	8人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) IT業界 (システムエンジニア、プログラマー)			
(就職指導内容) 校内外進路説明会 (合同企業説明会、会社説明会、面接会)、各種セミナー、ビジネスマナー及び就活リテラシー等の授業			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 基本情報技術者、応用情報技術者、情報セキュリティマネジメント、ITパスポート、民間プログラミング能力認定試験			



(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21人	3人	14.3%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による就学継続困難、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。また、経済的困難学生を特待生として授業料を減免している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	モバイル・アプリケーション科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,160 単位時間/単位	1,840 単位時間/単位	単位時間/単位	320 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		18人	3人	4人	0人	4人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10人 (100%)	0人 (0.0%)	10人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) システム開発、Web構築、アプリ開発			
(就職指導内容) 校内外進路説明会(合同企業説明会、会社説明会、面接会)、各種セミナー、ビジネスマナー及び就活リテラシー等の授業			
(主な学修成果(資格・検定等)) モバイル技術基礎検定、Javaプログラミング能力検定			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25人	4人	16.0%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による就学継続困難、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。また、経済的困難学生を特待生として授業料を減免している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	Web エンジニア科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
2年		2,160 単位時間/単位	1,840 単位時間/単位	単位時間/単位	320 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		63人	54人	4人	0人	4人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
(概要) 随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。	

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	0人 (0.0%)	12人 (85.7%)	2人 (14.3%)
(主な就職、業界等) Web構築 (プログラマ、デザイナー)			
(就職指導内容) 校内外進路説明会 (合同企業説明会、会社説明会、面接会)、各種セミナー、ビジネスマナー及び就活リテラシー等の授業			
(主な学修成果 (資格・検定等)) ITパスポート、Javaプログラミング能力認定試験			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
56人	11人	19.6%
(中途退学の主な理由) 精神障害、経済的理由による就学継続困難、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。また、経済的困難学生を特待生として授業料を減免している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	研究科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1,080 単位時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,080 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		3人	0人	0人	4人	4人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5人 (100%)	1人 (25.0%)	2人 (40.0%)	2人 (40.0%)
(主な就職、業界等) ゲーム業界			
(就職指導内容) 校内外進路説明会 (合同企業説明会、会社説明会、面接会)、就職活動用ポートフォリオ指導			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 各種ゲームコンテスト等入賞			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由) 中退者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 随時、担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。 また、経済的困難学生を特待生として授業料を減免している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ゲームクリエイター科	0 円	600,000 円	250,000 円	その他は施設充実費 15 万円、 実験実習費 10 万円
情報処理科	0 円	600,000 円	250,000 円	
モバイルアプリケーション科	0 円	600,000 円	250,000 円	
Web エンジニア科	0 円	600,000 円	250,000 円	
研究科	0 円	600,000 円	250,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				
授業時間外において、検定試験受験の対策講座及び実習をしている。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HP公開している。 <a href="https://tmc.tsuzuki.ac.jp/disclosure/">https://tmc.tsuzuki.ac.jp/disclosure/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 主な評価項目：教育、学生支援 評価委員会の構成：委員の定数は3名 (業界団体、学識経験者等から選出) 評価結果の活用方法：改善方策を8月目途で実施 (責任者：学校長)		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
団体職員	2023. 1. 1～ 2024. 12. 31	業界団体
無職	2023. 1. 1～ 2024. 12. 31	学識経験者
無職	2023. 1. 1～ 2024. 12. 31	学識経験者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HP公開している。 <a href="https://tmc.tsuzuki.ac.jp/disclosure/">https://tmc.tsuzuki.ac.jp/disclosure/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://tmc.tsuzuki.ac.jp/">https://tmc.tsuzuki.ac.jp/</a>
--



(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H113310400505
学校名 (〇〇大学 等)	東京マルチ・A I 専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 都築学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		18人	14人	18人
内訳	第Ⅰ区分	12人	-	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	-	-	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者 (年間)				0人
合計 (年間)				18人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		-	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	0人
計		-	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)		0人	0人
GPA等が下位4分の1		-	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		-	0人
計		-	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。